

◇ 開催趣旨： 楽しみながら韓国語の表現力を見せる場

韓国語を学び始めて間もない初級学習者でも楽しんで参加できるスピーチ大会があれば、そして学習者と指導者、友だちや家族の皆さんが韓国語を学ぶ楽しさを感じられたら・・・ そんな思いから、2003年に「話してみよう韓国語」は東京と大阪で誕生しました。2005年の「日韓友情年」を契機に開催都市も増え、本年度は全国8都市でそれぞれ地域の特色を生かした大会が開催されるまでになりました。

「話してみよう韓国語」には中高生、大学生、会社員、主婦など、様々な年齢、職業の方々が参加しており、韓国語学習者の層の厚さを物語っています。初級学習者はもちろん、中級以上の学習者も参加できる部門を設定していますので、学習者の皆さんが学習歴に応じて繰り返しチャレンジすることもできます。

本大会が全国の韓国語学習者の励みとなり、韓国語学習者のすそ野が広がることを期待してやみません。



この大会には、『中高生スキット部門』、『一般スキット部門』、『創作スキット部門』の3つの部門があります。

《鳥取大会の紹介》

11回目となる鳥取大会。韓国文化の魅力にひきつけられている山陰各地の皆さん、“韓国語で演じながら表現を楽しむ”この大会をとおして、韓国ワールドに浸ってみませんか？発表終了後には文化公演や交流会も予定しています。

韓国語を学習されている皆さんからの多くの参加申し込みをお待ちしております。

◇ 各部門別参加資格・説明・提出物について

中高生スキット部門 <2人1組で挑戦します>

制限時間3分。指定の台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加することができます(本文全体の3分の1程度まで)。また、台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。(事前に、使用される小道具の内容をお知らせください。)BGMを流すこともできます。

○ 参加資格

- (1) 日本国内の学校に在籍する、韓国語を母語としない**中高生**で、本選(2次審査)時に、満20歳未満の者。国籍は問いません。
- (2) 韓国語学習歴が2年以内で、本選(2次審査)までの学校等での学習時間が100時間までを目安とする初級学習者、韓国語能力試験初級(旧1級)未満、「ハングル」能力検定試験5級程度の者。
- (3) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して1カ月以内の者。
- (4) 独習者は、学習歴・学習時間が(2)に準ずる者。
- (5) 応募時点から過去1年以内に、本大会及び他の韓国語スピーチコンテストの本選で最上位(最優秀賞、大賞、優勝など)を受賞したことがない者。

○ 応募に必要な提出物

所定の参加申込書 (応募者2名分の参加申込書を同一の封筒等に入れて提出してください。)

スキット台本の完成版原稿(韓国語および日本語訳各1部をA4用紙に印刷したもの)

※アドリブを追加した場合、韓国語・日本語訳ともに追加・変更した部分がわかるようにして送ってください。

※1次審査通過者には、後日、完成版原稿の電子データの提出をお願いします。

スキット台本のセリフを録音したもの(CD-Rまたは音声データ)※mp3、wavまたはオーディオCD形式で保存

使用する予定の小道具のメモ

【記入例】BGM(歌手○○の市販音楽CD)、お金(紙で作ったもの)、旅行カバン、長机1、イス2、ホワイトボード

◆優勝者はクムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会に出場できます！

中高生スキット部門に出場した高校生のうち各大会で最上位組は、3月に東京で行われる“韓国語の甲子園”クムホ・アジアナ杯高校生大会に出場する権利を得ることができます(ただし、中高生スキット部門応募総数が5組以上の大会の場合、中学生が最優秀賞を受賞した場合、高校生の最上位組が出場権を獲得します。また、高校生の最優秀者が辞退した場合は、次点受賞者が出場できるようになります。総応募数が5組未満だった場合は、各大会実行委員会からクムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会事務局へ応募書類と応募音源を送ることにより、事務局側で行う音源審査の対象とし、音源審査全体から数組が全国大会への進出となります。)地方から出場する高校生には、東京までの往復交通費と東京での1泊分の宿泊が提供されます。その出場組を指導された先生1名(非常勤講師も含む)も引率者として同行していただき、引率者への援助があります。同大会の入賞者は副賞として約1週間の韓国研修旅行に招待されます。また、最優秀賞受賞者は、研修に続いて韓国の大学で3週間の語学研修に参加することができます。

■クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会 (<http://www.asiana.co.jp/speech/>)

【日 時】2016年3月12日(土)14:00~(予定)

【会 場】駐日韓国文化院ハンマダンホール(東京都新宿区四谷4-4-10)

一般スキット部門 (旧指定スキット部門)

<2人1組で挑戦します>

※韓国語学習歴2年以内の初級の方は、この部門で腕試し！

制限時間 3分。指定台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加することができます(本文全体の3分の1程度まで)。制限時間の範囲で自由創作部分のアレンジは可能です。なお、台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。(事前に、使用される小道具の内容をお知らせください。)BGMを流すこともできます。

○ 参加資格

- (1) 韓国語を母語としない中学生以上の者。国籍は問いません。
- (2) 中高生スキット部門の参加資格に規定する学習歴を超える中高生。
- (3) 大学生・一般: 応募時に韓国語学習歴が2年以内で本選(2次審査)までの学校等での学習時間が100時間までを目安とする初級学習者。大学生の場合、日本国内の学校に在籍する者。
- (4) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して1カ月以内の者。
- (5) 応募時点から過去1年以内に、本大会を含む他の韓国語コンテスト等の本選で最上位(最優秀賞、優勝、大賞など)を受賞したことがない者。ただし、過去の中高生スキット部門最優秀賞受賞者は応募可能。
- (6) 独習者等は、上の要件に準じます。
韓国語能力試験初級(旧1~2級)、「ハングル」能力検定試験4~5級程度の学習者を想定しています。

○ 応募に必要な提出物

所定の参加申込書 (応募者2名分の参加申込書を同一の封筒等に入れて提出してください。)

スキット台本の完成版原稿(韓国語および日本語訳各1部をA4用紙に印刷したもの)

※アドリブを追加した場合、韓国語・日本語ともに追加・変更した部分が見えるように送ってください。

※1次審査通過者には、後日、完成版原稿の電子データの提出をお願いします。

スキット台本のセリフを録音したもの(CD-Rまたは音声データ)※mp3、wavまたはオーディオCD形式で保存

使用する予定の小道具のメモ

【記入例】BGM(歌手〇〇の市販音楽CD)、お金(紙で作ったもの)、旅行カバン、長机1、イス2、ホワイトボード

創作スキット部門

<原則 2 人 1 組で挑戦します。条件を満たせば 1 人での応募も可能です。>

※中級までの韓国語学習者は、創作スキット部門へ！ ～教室の仲間とペアを組んで、オリジナル台本を作って挑戦しよう～ ☞ リアルなセリフを覚えて、会話力☆アップ ☜

制限時間 2 分 30 秒～3 分の間で発表が終わるようにしてください。指定した設定場面で 2 人以上の登場人物がいるスキットを創作して暗記し、2 人 1 組で韓国語の発音や表現力を競います。創作スキットの台本は、必ず会話をする内容とし、ナレーションなど会話になっていないものは不可とします。また台本を読み上げることはできません。2 人 1 組を原則としますが、やむを得ず相手を探し切れなかった場合は、1 人 2 役以上を条件に 1 人での応募を認めます。

服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。(事前に、使用される小道具の内容をお知らせください。)BGM を流すこともできます。

★設定場面：「カフェ、レストラン、食堂」での会話（注文をする、食事をする、おしゃべりをする等）

登場人物：2 名以上であれば自由に設定してください。

(1 人 2 役以上や、登場人物が 3 名でも 4 名でも可能です。ただし、原則 2 人で演じます。)

* 台本の作り方は「一般スキット部門」の台本を参考に作成してください

○ 参加資格

次の条件をすべて満たす方は、どなたでも応募できます。

- (1) 韓国語を母語としない中学生以上の者。国籍は問いません。
- (2) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して 1 年以内の者。
- (3) 過去に、本大会を含む他の韓国語コンテスト等の本選で最上位(最優秀賞、優勝、大賞など)を受賞したことがない者。ただし、過去の中高生スキット部門または一般(旧指定)スキット部門の最優秀賞受賞者は応募可能。

○ 応募に必要な提出物

所定の参加申込書（2 人 1 組で応募の場合は 2 名分の参加申込書を同一の封筒等に入れて提出してください。）

創作スキット台本原稿(韓国語および日本語訳、各 1 部を A4 用紙に印刷したもの)

※創作スキットの台本制作時は、一般スキット部門の台本を参考に

(1) 題名、(2) 登場人物の説明と配役、(3) 場面設定をわかりやすく入れてください。

創作スキット台本原稿の韓国語および日本語訳の電子データが入った CD-R

創作スキットを録音したもの(CD-R または音声データ)※mp3、wav またはオーディオ CD 形式で保存

使用する予定の小道具のメモ

【記入例】BGM(歌手○○の市販音楽 CD)、お金(紙で作ったもの)、旅行カバン、長机1、イス2、ホワイトボード

◇ 応募方法

各部門で必要な提出書類と録音媒体(CD-R等)を同封し、応募先まで郵送するかご持参ください。一度提出された書類等は一切返却できませんので、ご了承ください。※応募後、原稿に変更がないよう、十分に確認をしてからご提出ください。提出後に不備等がありましたら、至急お問い合わせください。なお、**1次審査開始後の原稿の変更等は認めません。**

複数部門への応募はできません。また、応募後に参加者を交替することはできませんので、ご注意ください。

※ 公平な審査のために次の点を必ずお守りください

- ① 録音媒体には発表内容以外の事項(自己紹介など)は入れないでください。減点の対象になります。
- ② 録音媒体にお名前をお書きください。
- ③ 1つのCD-R・音声データに複数組の録音を入れしないでください(1組1つずつを厳守願います)。
- ④ 録音される際は、録音時のボリュームを大きめにし、送付する前に必ず再生して音質等を確認してください。(録音されていなかったり、ボリュームが小さくて聞きづらい場合、1次審査の際、不利になることがあります。)

◇ 1次審査(予選)と本選の実施について

【1次審査(予選)】音源審査 ※書類と録音を併せて総合的に判断します。

<中高生指定スキット部門> ……10組前後を選抜

<一般スキット部門> ……………7組前後を選抜

<創作スキット部門> ……………5組前後を選抜

※各部門の募集状況により出場者数の変更があります。

※審査の結果は、11月下旬頃に代表者またはご本人あてに通知します。

◇ 本選の審査について

本選の発表順は、予め厳正な抽選により決定しお知らせします。

○ 審査基準は次のとおりです。 ※()内の数字は100点中の配点です

部 門	審 査 基 準
中高生スキット部門 一般スキット部門	・発音(50点)—発音の正確さ、イントネーション、聞き取りやすさ ・総合表現力(40点)—話す速度、強弱、身振り手振り、感情表現、アドリブなど ・暗唱(10点)—原稿を見ないで発表
創作スキット部門	・発音/表現(50点)—発音の正確さ、イントネーション・強弱、話す速度、聞き取りやすさ、感情表現 ・内容/構成(40点)—内容、正確さ(語彙・文法)、起承転結、聴衆の関心誘発 ・暗唱(10点)—原稿を見ないで発表 ※質疑応答はありません。

※発音・イントネーション等の基準について：

本大会では、ソウルを標準語とする韓国語を基準にして審査を行います。

各部門共通の注意事項

本選の発表時に主催者側がステージ上に準備できるものは、ホ(会議用・両面・可動式)ワイトボード・椅子2脚・長(会議用 イス)机2台とピンマイクです。BGM 使用者のためにBGMを流す装置も準備しますので、操作は出場者自身でお願いします。

※ 施設管理及び衛生面から舞台上に飲食物を持ち込むことは禁じます。

※ 小道具は他の出場者や観覧者の迷惑にならないよう、指定の座席(2名分)に収まる程度のものを準備し、各自で保管してください。

※ 1次審査で各部門の参加資格を超える語学力を持っていると判断された方は、本選に進めないことがあります。



賞

※予定 (アジアナ航空で行く日韓往復航空券をはじめ、素敵な賞品をご用意しております)

○最優秀賞：各部門1グループ(名)ずつ

- 中高生スキット部門：賞状、クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会への出場権(高校生のみ)
- 一般スキット部門：賞状、アジアナ航空で行く日韓往復航空券または旅行券
- 創作スキット部門：賞状、アジアナ航空で行く日韓往復航空券または旅行券

○公益財団法人鳥取県国際交流財団設立25周年特別賞：

- 中高生スキット部門より1グループ：賞状、副賞として豪華賞品

○優秀賞：各部門1グループ(名)ずつ - 各部門共通：賞状、副賞

○奨励賞：各部門1グループ(名)ずつ - 各部門共通：賞状、副賞

○努力賞：上記入賞者以外の本選全参加者 - 記念品など

※中高生スキット部門の応募総数が5組以上となった大会にのみクムホ・アジアナ杯出場権が授与されます。

※今年度から、クムホ・アジアナ杯に出場する高校生は立命館大学のAO選抜—文学部「国際方式」への出願資格が自動的に与えられます。

※応募が5組未満の部門の場合は、優秀賞、奨励賞のみになりますので予めご了承ください。

※大会の都合により、副賞の内容が変わることもございます。

◇本選参加者の交通費補助について(学生対象)

最寄りの地方の大会に参加することを基本とします。中学校、高等学校、工業高等専門学校、専門学校、短期大学、大学、大学院に在籍する学生が本選(鳥取大会)出場のために負担する交通費について、1人10,000円を上限として公共交通機関を利用した場合に限り助成します。ただし、特急列車については、片道60km以上の利用に特急料金を補助します。別途交通費補助申請書を指定する期日までに提出した参加者本人のみを対象とし、所属学校や他の機関から補助を受けられる方は対象となりません。

◇その他

大会の写真の著作権は主催者に帰属し、当財団の印刷物やホームページ等で使用する場合があります。また、入賞者はホームページ等で氏名を公表させていただくことをご了解のうえご応募ください。

【 本選(2次審査／本大会) 】

開催日時: 2015年12月19日(土) 13:00 ~ (午前中に事前説明会とリハーサルを行います。)

会 場: **米子コンベンションセンター 小ホール** (米子市末広町294)



■□□□□■<J R>■□□□□□□□

・JR 米子駅から徒歩 5分

■□□□□□□□□□□□□□□□□□□

=== <自動車: 山陰道米子バイパス> ===

・鳥取方面から 米子中ICより 約5分

・松江方面から 米子西ICより 約5分

<駐車場のご案内>

ビッグシップ前、イオン米子駅前店の立体駐車場をご利用ください。

駐車券は必ずお持ちください!

会場に設置してある駐車券処理機利用で、ご利用時間分の駐車料金は無料になります。

※昨年とは会場が異なります。ご注意ください!

応募・お問い合わせ

公益財団法人 鳥取県国際交流財団 (米子事務所)

〒683-0043 米子市末広町 294 番地 米子コンベンションセンター1階

電話 0859-34-5931 ファクシミリ 0859-34-5955

[利用時間] 平日 9:00~17:30 土日 10:00~17:00 (祝日・年末年始を除く)

※『話してみよう韓国語第11回鳥取大会』の情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。

募集要項、スキット台本および参加申込書のダウンロードもできます。

ホームページ <http://www.torisakyu.or.jp/?id=1256>

電子メール ticyc@torisakyu.or.jp

